

2. 乗合タクシー試験運行の結果報告

1)乗合タクシー試験運行の概要

①背景と目的

【試験運行実施の背景】

●公共交通不便地域への対応

市街地やその周辺部などには、人口が顕著に密集している“優先的に対応が必要な”公共交通不便地域が存在する。また、平野部や山間部の一部では比較的人口が多いにも関わらず公共交通不便地域となっている集落が見られ、こうした地域への対応が求められている。

●利用が低迷する路線バスへの対応

路線バスの中には、サービス水準に対して利用が顕著に少ない路線が存在しており、その中には路線バスとしての運行を維持していくことが難しいため、需要に応じた運行形態の見直しが必要となっている路線もある。

現状では乗合タクシーが運行されていない平野部およびその周辺地域においても、今後、乗合タクシーを導入していくことが考えられる。

【試験運行の目的】

①需要等の確認	・平野部やその周辺地域における乗合タクシーに対する需要の有無・大きさを確認 ・乗合タクシーによる移動の目的地や運行時間帯などのニーズを確認 ・利用時の予約行為に対するニーズや予約方法などに関する問題点等を確認 など
②運行方法に関する留意点等の把握	・「迂回ルート型」での運行を考える上での留意点や課題等を確認 ・「区域デマンド型」での運行を考える上での留意点や課題等を確認 など
③その他	・交通事業者の側から見た運行上の問題点や課題などを把握 など

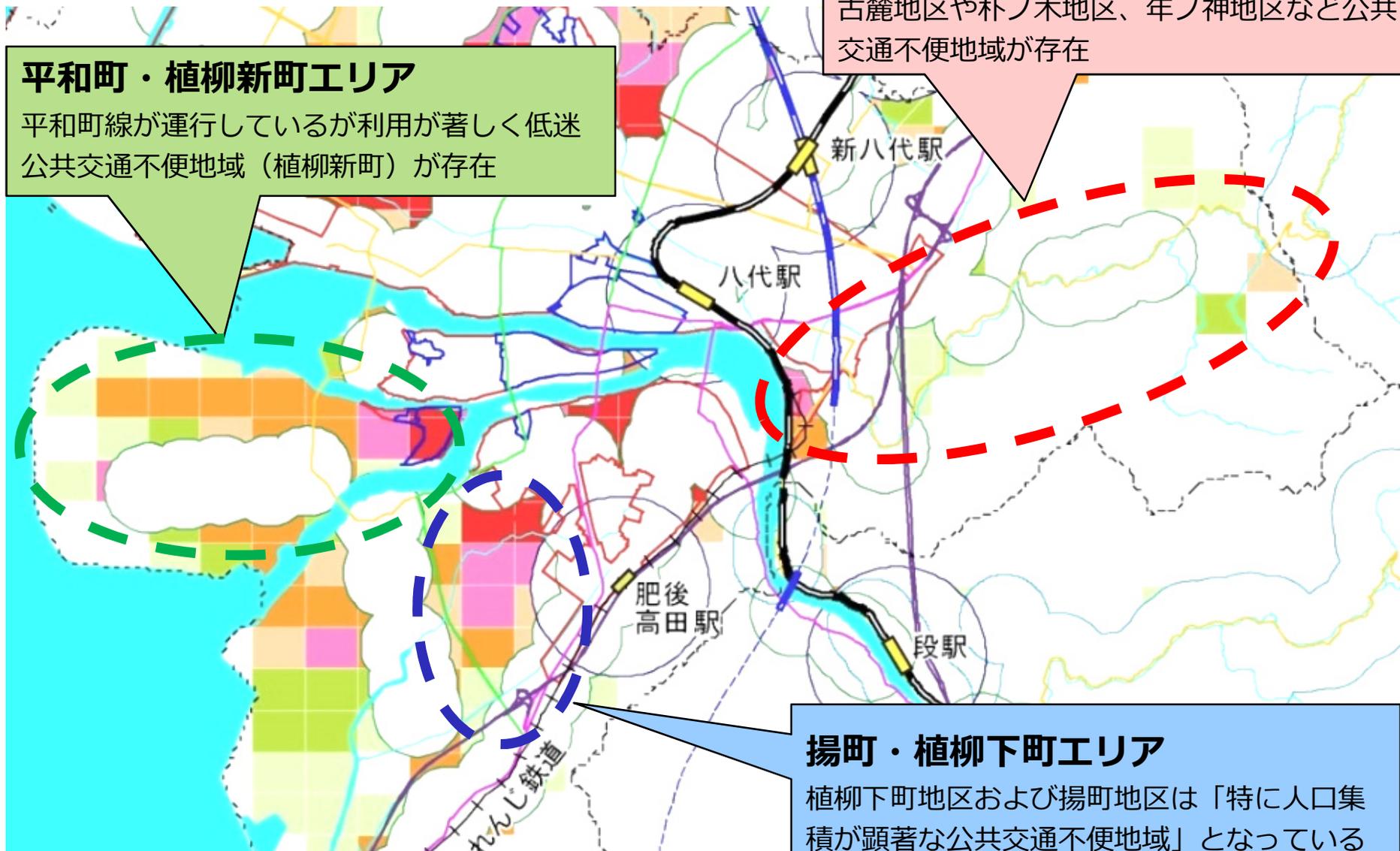
②対象エリア

平和町・植柳新町エリア

平和町線が運行しているが利用が著しく低迷
公共交通不便地域（植柳新町）が存在

東町・古麓エリア

東町線が運行しているが利用が著しく低迷。
古麓地区や朴ノ木地区、年ノ神地区など公共
交通不便地域が存在



揚町・植柳下町エリア

植柳下町地区および揚町地区は「特に人口集
積が顕著な公共交通不便地域」となっている

③運行概要

	概要
運行期間	平成27年11月2日（月）～12月28日（月）（2か月間）
運行曜日	東町・古麓ルート：週2回 揚町・植柳下ルート、平和・植柳新ルート：週3回
運行ダイヤ	各ルート：上り2便、下り2便（2往復/日）
事前登録	事前登録制として電話またはFAXで受け付け
予約	予約制として、前日の午後4時までに電話で予約を行う 【利用日】 【利用便】 【乗車停留所/降車停留所】 【氏名/連絡先】 を 伝え、予約完了
車両	ジャンボタクシーを基本とする。 ただし、予約の状況に応じて小型車を使用する。
運行委託	一般社団法人熊本県タクシー協会八代市部
周知	STEP 1：事前アナウンス（運行開始1か月前） STEP 2：詳細な情報提供（運行開始1週間程度前）

※詳細は配布資料を参照

2)乗合タクシー試験運行の利用状況

①稼働率

稼働率は、いずれも5割を超えており、本格運行を検討する目安を上回っている。特に、揚町・植柳下ルートは7割を超えており、高い。

	設定便数	稼働便数	稼働率
東町・古麓ルート	64便	34便	53.1%
揚町・植柳下ルート	100便	73便	73.0%
平和・植柳新ルート	100便	52便	52.0%

②利用状況(実績)

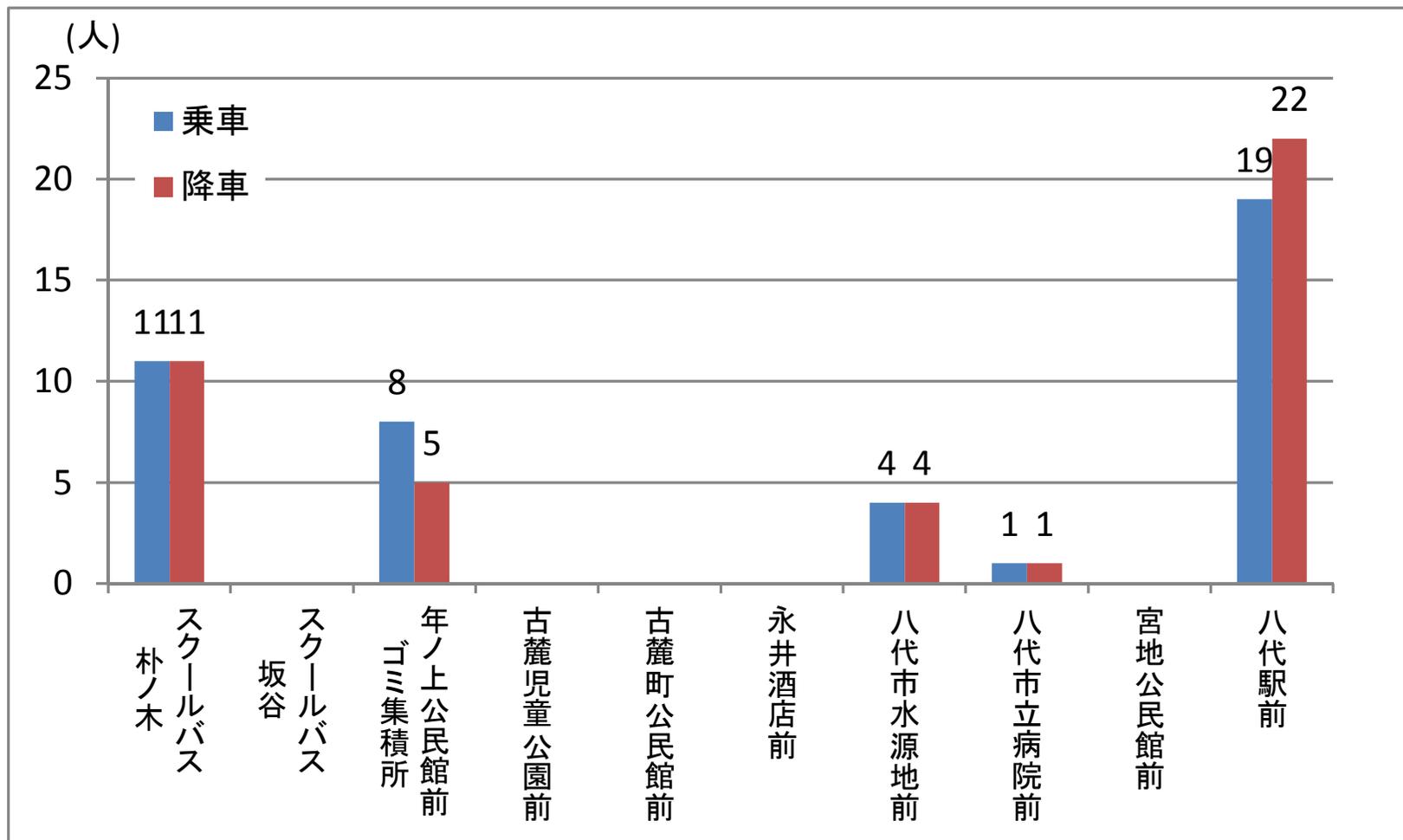
揚町・植柳下ルート、平和・植柳新ルートでは、一便あたり利用者数が2.0人を超え、“乗合”として利用されている。一方、東町・古麓ルートでは、1.3人/便と利用者単独での利用が多かった。

	利用者数	稼働一便あたり利用者数
東町・古麓ルート	45人	1.3人/便
揚町・植柳下ルート	201人	2.8人/便
平和・植柳新ルート	115人	2.2人/便

③利用状況(予約)

【東町・古麓ルート】

朴ノ木地区、年ノ神地区からの利用が多く、八代駅まで利用している。

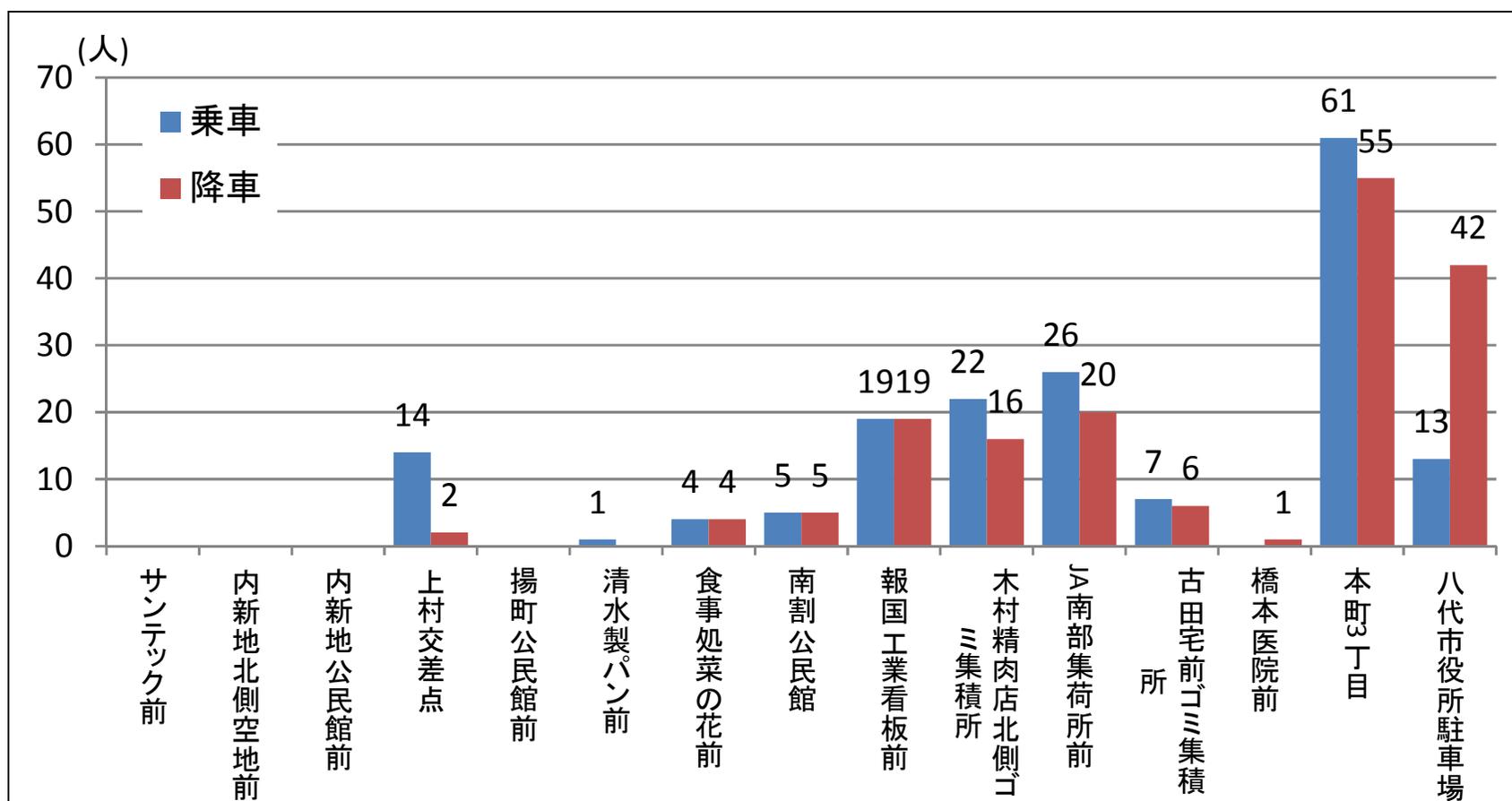


▲停留所別乗降者数:東町・古麓ルート

③利用状況(予約)

【揚町・植柳下ルート】

揚町地区（上村交差点）、植柳下町（報国工業看板前、木村精肉店北側ゴミ集積所、J A南部集荷所前）からの利用が多く、本町や八代市役所まで利用している。

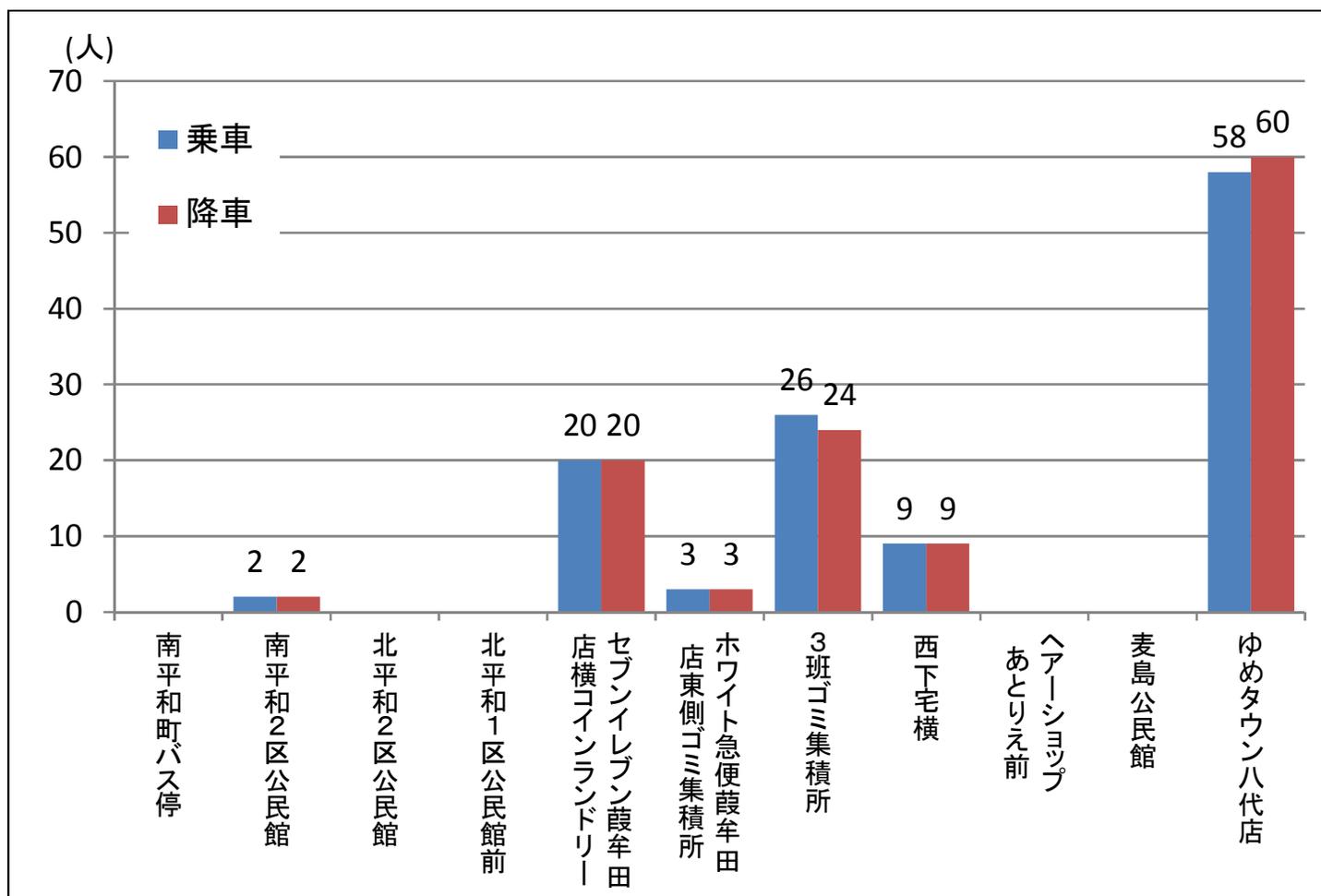


▲停留所別乗降者数:揚町・植柳下ルート

③利用状況(予約)

【平和・植柳新ルート】

葭牟田町（セブンイレブン葭牟田店横コインランドリー、3班ゴミ集積所）からの利用が多く、ゆめタウン八代まで利用している。



▲停留所別乗降者数:平和・植柳新ルート

④利用者のパターン

【東町・古麓ルート】

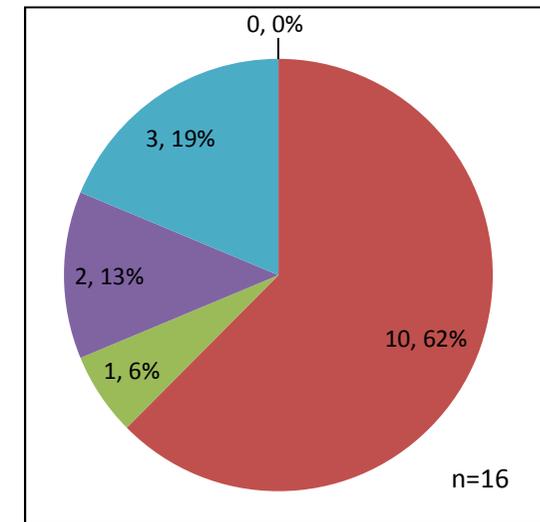
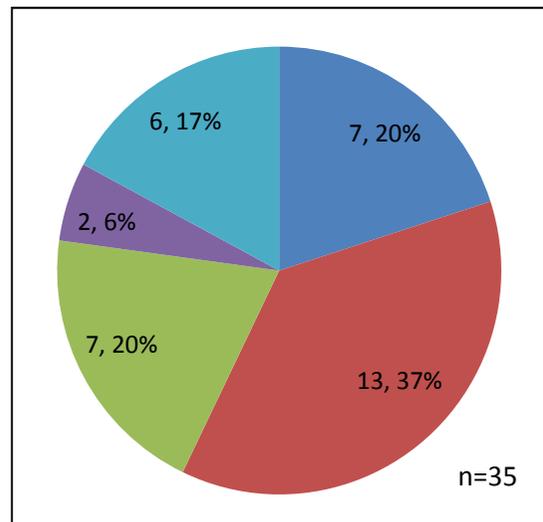
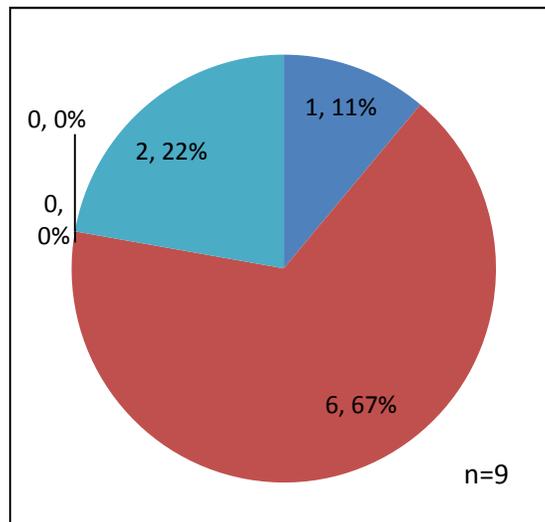
9名の利用があり、頻繁に利用している利用者は2名、1回だけの利用は7名であった。

【揚町・植柳下ルート】

35名の利用があり、頻繁に利用している利用者は6名、月に1～2往復相当の利用が9名、1回だけの利用は20名であった。

【平和・植柳新ルート】

16名の利用があり、頻繁に利用している利用者は3名、月に1～2往復相当の利用が3名、1回だけの利用は10名であった。



■ 1回(片道のみ) ■ 2回(1往復相当) ■ 3～4回(月に1往復相当) ■ 5～6回(月に2往復相当) ■ 7回以上(頻繁に利用)

▲ 利用者の利用頻度(左:東町・古麓ルート、中:揚町・植柳下ルート、右:平和・植柳新ルート)

3)各種アンケート調査結果(速報)

1) 利用者アンケート

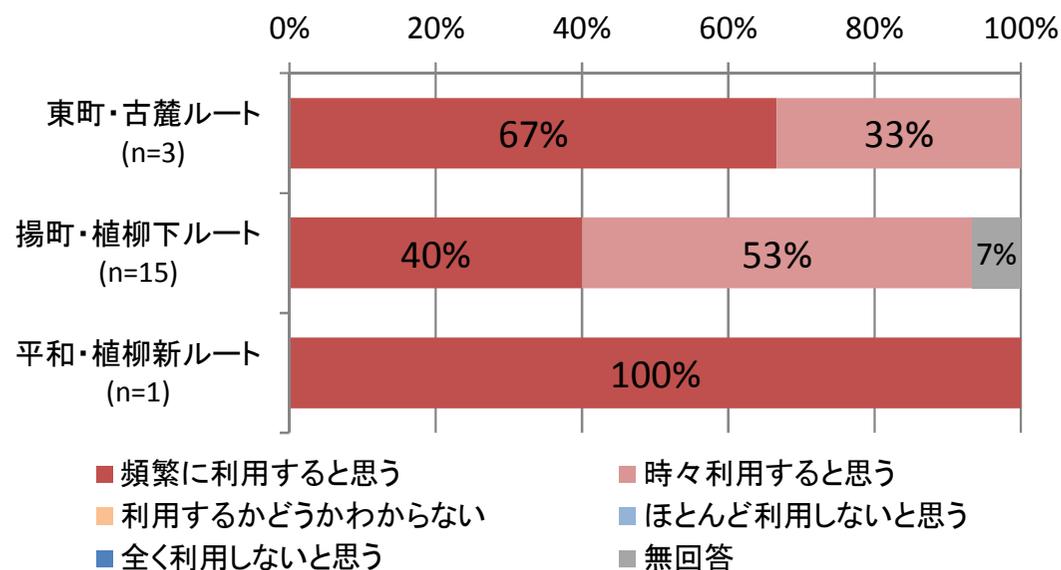
① アンケート回収率

開始直後、終了直前ともに、回答票がわずかとなった。

	回収票数	
	開始直後	終了直前
東町・古麓ルート	4票	3票
揚町・植柳下ルート	10票	15票
平和・植柳新ルート	10票	1票

② 本格運行時の利用意向（終了直前アンケートより）

本格運行の利用に対して、回答数は少ないものの、各ルートとも利用意向を示している。



1) 利用登録者アンケート

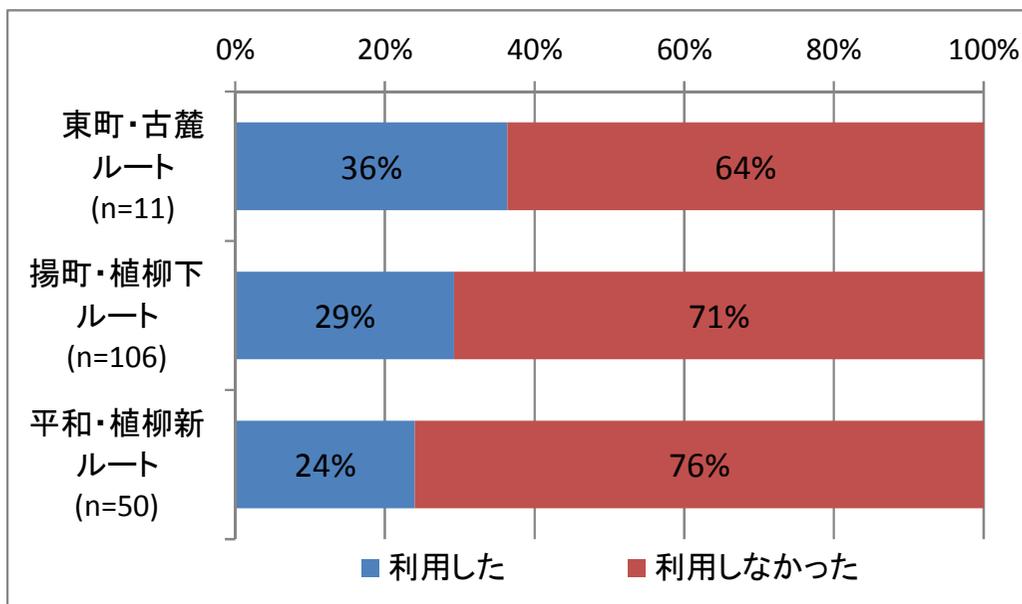
① アンケート回収率

回収率は、揚町・植柳下ルートで高く、約55%となっている。東町・古麓ルート、平和・植柳新ルートでは約3割となっている。

	配布票数	回収票数	回収率
東町・古麓ルート	35票	11票	31%
揚町・植柳下ルート	191票	106票	55%
平和・植柳新ルート	170票	50票	29%

② 利用の有無

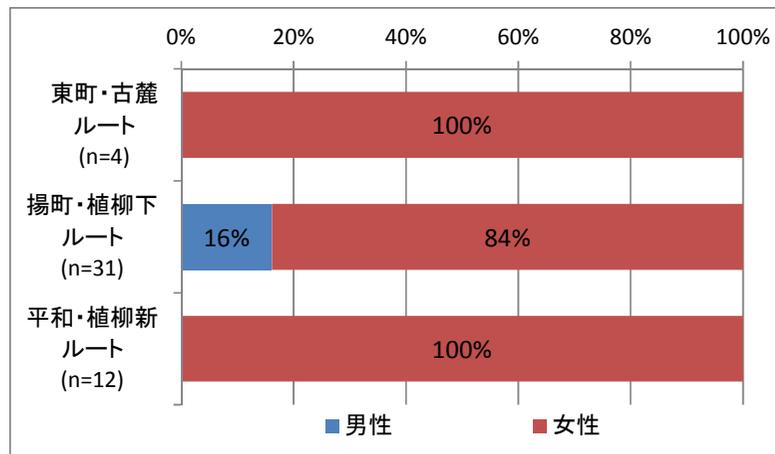
回答者のうち、利用したことがあるとの回答は、東町・古麓ルートで4割弱、揚町・植柳下ルートで約3割、平和・植柳新ルートでは約25%となっている。



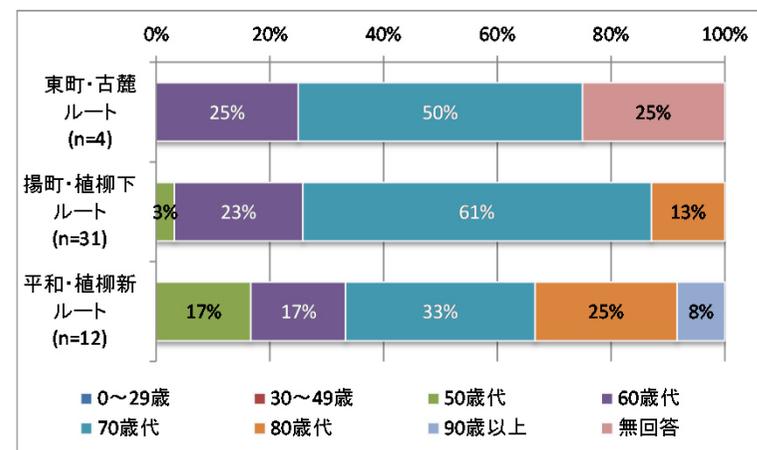
③利用者の属性

利用者は、60歳以上の女性で、クルマを自由に使える環境にない人が大半を占めている。また、植柳下町や葎牟田町の市民が多い。

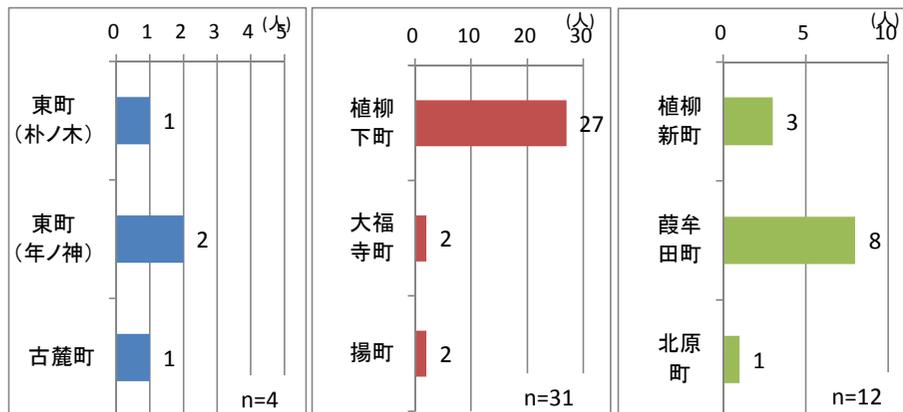
【性別】



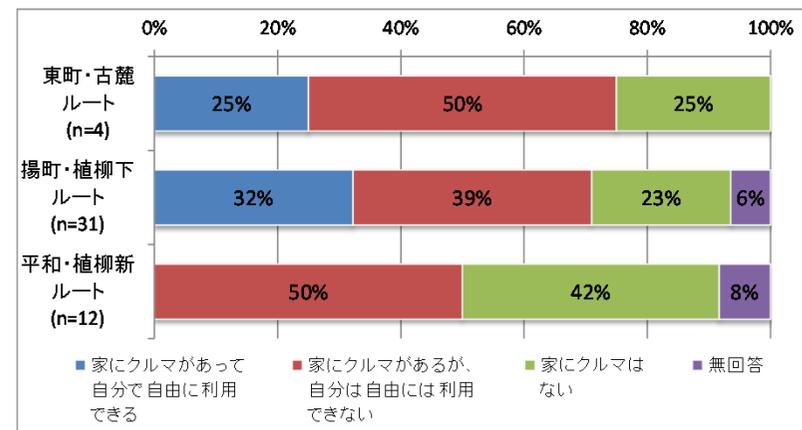
【年齢】



【住所】



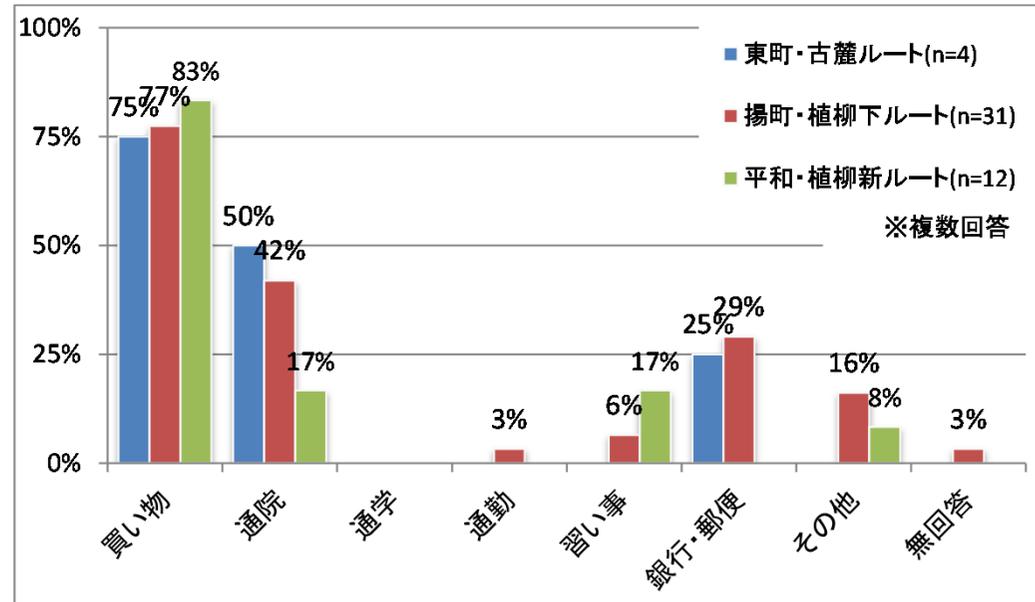
【クルマの利用環境】



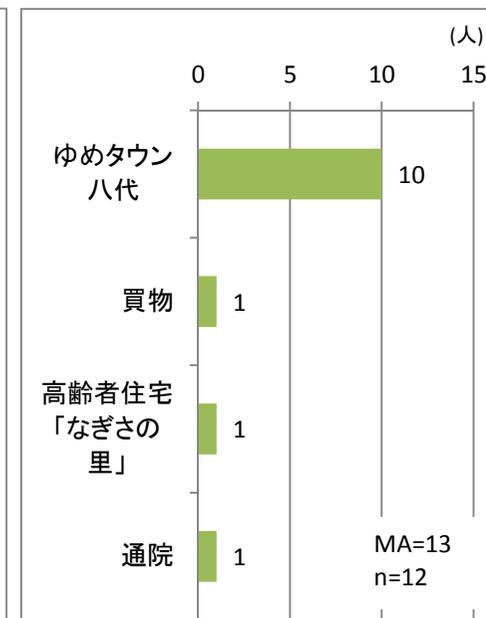
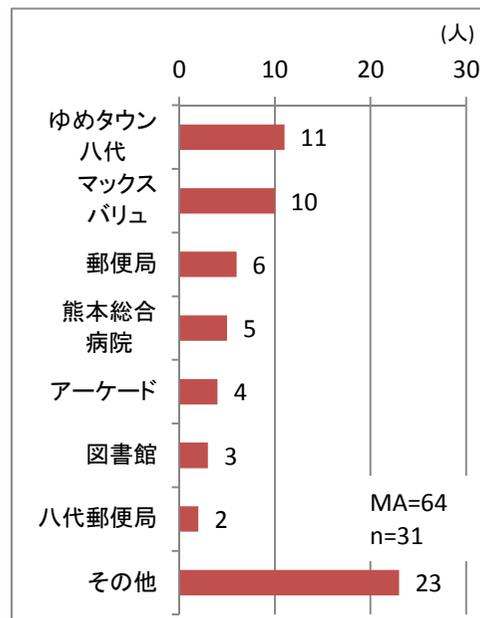
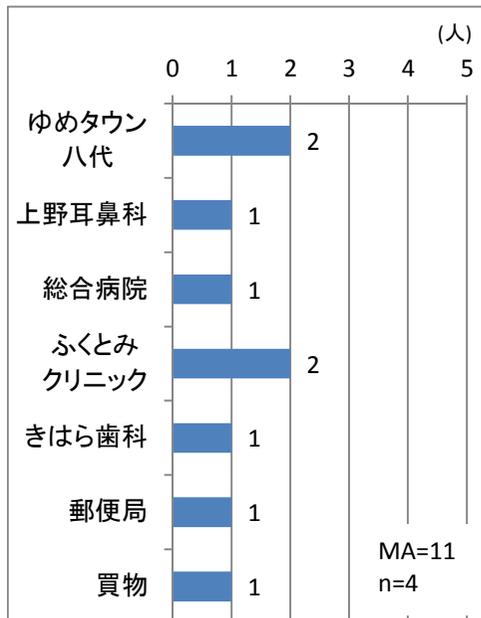
④外出目的

利用者の主な外出目的は、買い物が多く、次いで通院となっている。どのルートもゆめタウンが主な外出先となっている。

【外出目的】

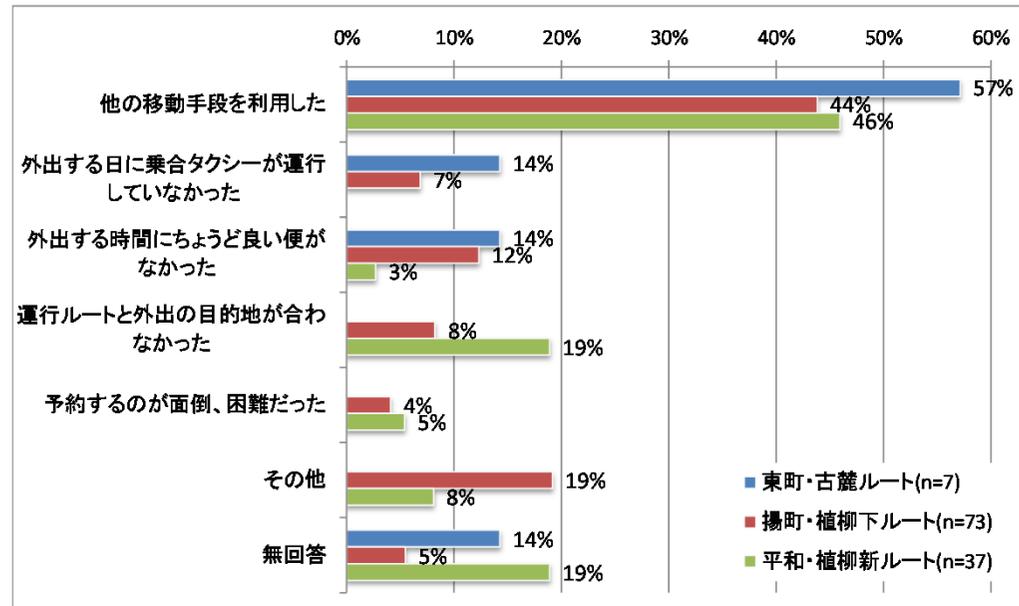


【外出先】



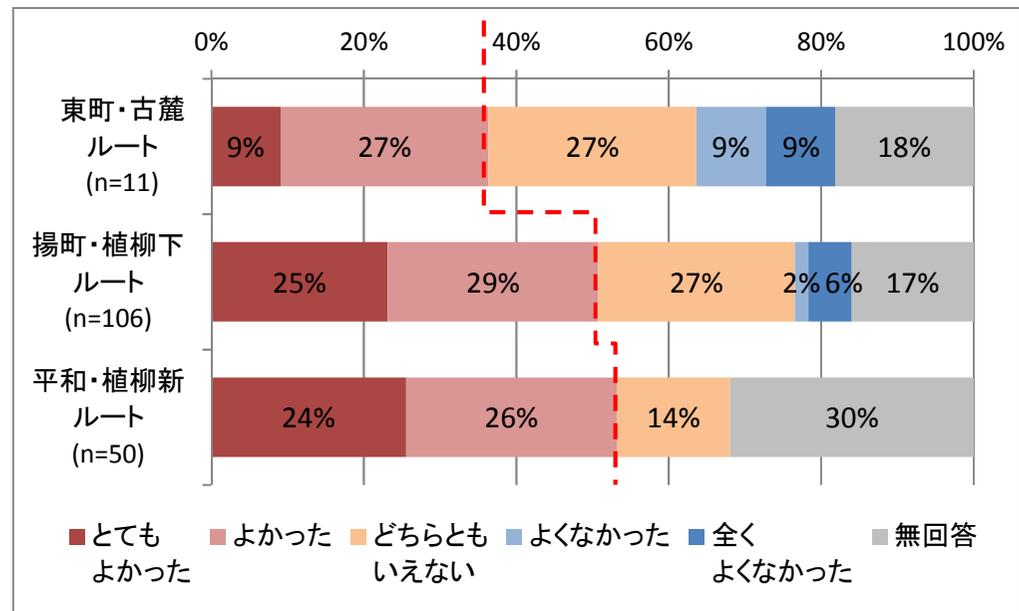
⑤利用しない理由

いずれのルートも「他の移動手段を利用した」が最も多い。
 その他、東町ルートや揚町ルートでは、運行曜日やダイヤの改善、平和町ルートでは運行ルートの変更等により、更なる利用が期待できる。



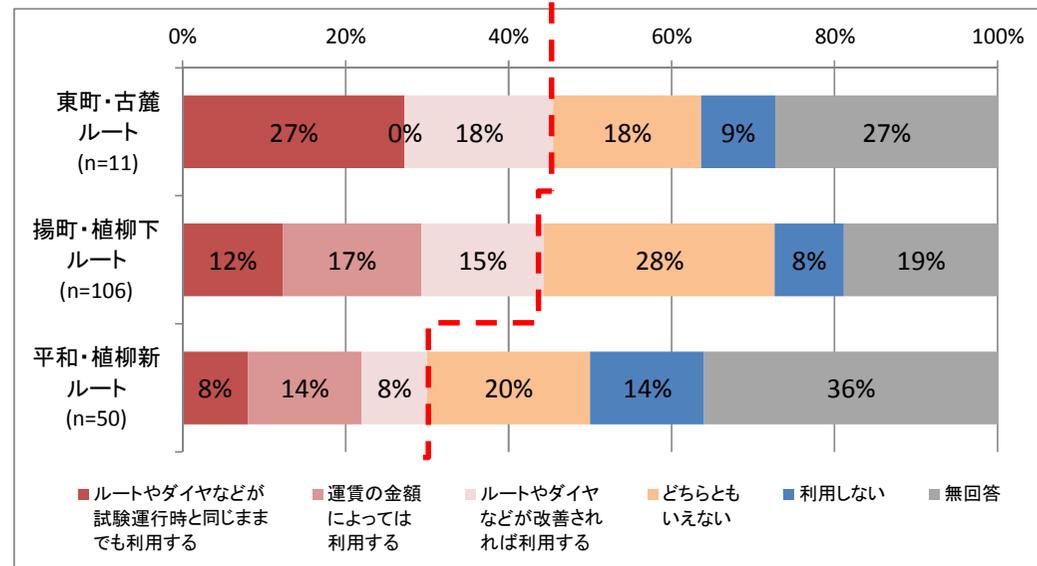
⑥乗合タクシー試験運行に対する評価

試験運行に対して、揚町・植柳下ルート、平和・植柳新ルートでは、半数以上が高評価を回答。東町・古麓ルートでも4割弱が高評価を回答。



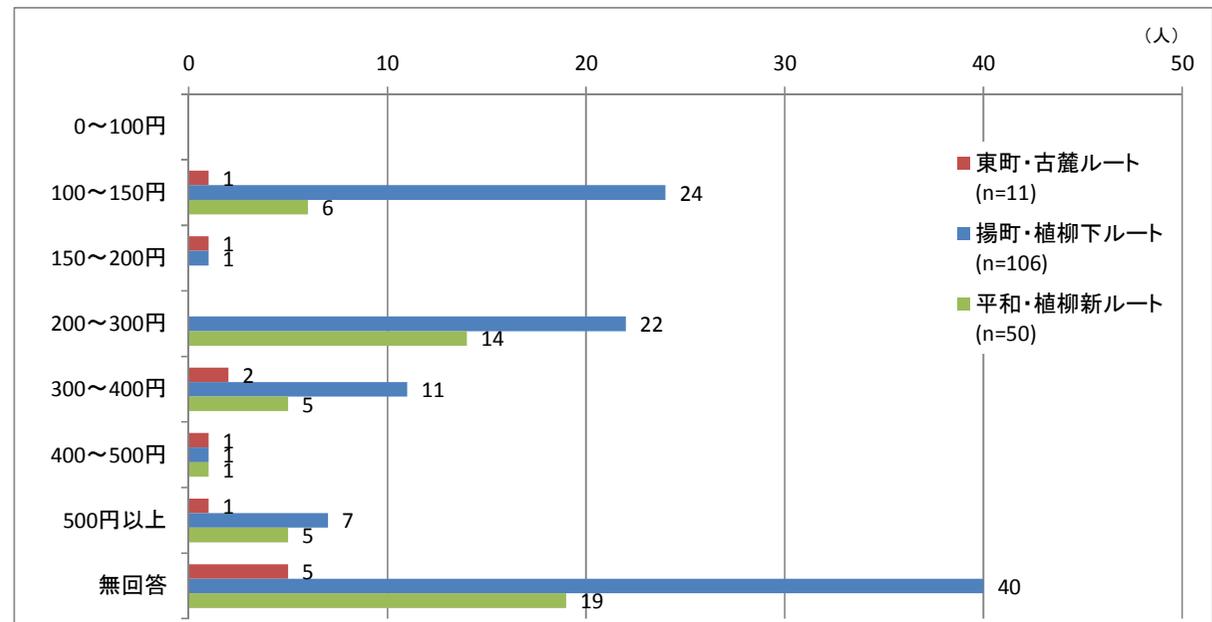
⑦本格運用時の利用意向

本格運行時の利用に対して、運賃設定や運行内容の改善等の条件付きでの利用も含めて、東町・古麓、揚町・植柳下町では4割以上、平和・植柳新町では約3割が利用意向を示している。



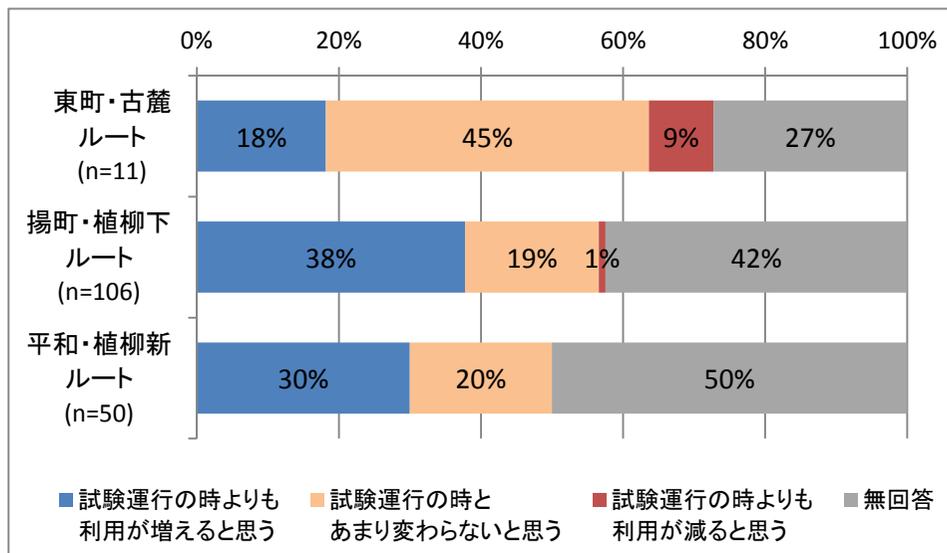
⑧支払意思額

揚町・植柳下ルートでは100～150円、200～300円への回答が多い。平和・植柳新ルートでは、200～300円が多い。東町・古麓ルートでは、意見が分かれている。



⑨本格運用時の利用の増減

揚町・植柳下ルート、平和・植柳新ルートは無回答が多い中で、3～4割は「利用が増える」と回答。東町・古麓ルートでは「利用が増える」は2割程度に留まるが、「あまり変わらない」を含めて6割以上が利用意向を示している。



⑩本格運行を利用しない理由

各ルートとも、「現在、他の交通手段がある」との回答が最も多い。その他、揚町・植柳下ルート、平和・植柳新ルートでは、運行内容に関する不満がみられる。

